



学校のこれから通信 (藤山台中学校区) No.3

(発行) 令和8年7月27日(月)
春日井市教育委員会事務局 学校教育課
新たな学校づくり推進室
TEL : 0568-85-6149
Mail : n-gakko@city.kasugai.lg.jp

市では子どもたちにとってより良い教育環境を実現していくため、坂下、藤山台、高森台、石尾台、岩成台の5つの中学校区にある学校について、学校の統合に向けた検討を進めています。

今号では5月30日(土)に岩成台中学校区と合同で開催した意見交換会の内容などについて紹介します。



前号はこちら

藤山台中学校区と岩成台中学校区合同の意見交換会(5月30日開催)について

高蔵寺ニュータウン地区の学校統合に向けた市の考え方をお示するとともに、藤山台中学校区と岩成台中学校区の方にそれぞれの考えや思いを互いに知っていただくため、両中学校区合同で第4回意見交換会を開催しました。参加者数は23人でした。

会の前半では、市の考え方として、高蔵寺ニュータウン地区を「藤山台・岩成台中学校区」と「高森台・石尾台中学校区」の2つの地区に分け、それぞれの地区で最適な学校統合のあり方を検討する案をお示しました。他にも、新しい学校が魅力ある学校となるように検討を進めることや、保護者や地域の方、学校関係者と連携しながら、丁寧に検討を進めることなどをお示し、その後、説明の内容について意見交換を行いました。参加者からは、児童生徒数推計の算出根拠の確認や懇談会など今後のスケジュールについての質問がありました。

会の後半では、1グループ5人から6人で円になり、テーマごとに参加者どうしによる意見交換を行いました。意見交換は自由参加で行い、参加者数は21人(藤山台小学校区13人、岩成台小学校区3人、岩成台西小学校区5人)でした。



意見交換会(5月30日)



参加者どうしによる意見交換の主な意見

【テーマ1 統合した新しい学校に期待すること】

- ・小中一貫教育や子どもの個性を伸ばすことができる特色あるカリキュラムを取り入れた魅力ある学校をつかってほしい。
- ・新しい校舎、きれいな施設を整備してほしい。トイレなどがきれいな方がよい。
- ・高蔵寺ニュータウンの活性化につながるような魅力ある学校づくりが重要だと思う。
- ・統合して空いた学校に、不登校の子どもが通える学校をつくるとよい。不登校以外にも障がいのある子どもなど、いろいろな子どもに対応できる学校がよいと思う。

【テーマ2 統合する場合に心配なこと】

- ・通学範囲が広くなり安全面が心配である。小学1年生には通学バスを必ず導入してほしい。バスを導入する場合は、利用者の負担がないようにしてほしい。
- ・小規模校は子どもたち一人ひとりの状況を把握できるなどの良いところがあるため、小規模校も残してほしい。また、小規模校のメリットを適正規模の学校にも取り入れてほしい。
- ・統合後の子どもたちの人間関係が心配なため、互いの学校の交流を深める取組をしてほしい。また、各学校の保護者のつながりも円滑に進むようにしてほしい。

児童生徒数推計について

児童生徒数推計について、5月30日開催の意見交換会の後、基準年度を令和7年度から8年度に変更し、新たに推計しました。

令和8年度における0歳から5歳までの年齢別人口に基づき、小学校は令和14年度まで、中学校は令和20年度まで推計しています。また、令和22年度の算出方法について、これまでは市が将来の人口動向を推計した「人口ビジョン」から推計していましたが、直近の児童生徒数の状況を反映させるために、小学校は令和14年度まで、中学校は令和20年度までの児童生徒数推計の推移に基づき、将来も同様な増減の傾向があると想定して推計しています。

令和22年度の岩成台小学校と岩成台西小学校の児童数の合計について、これまでの推計では、クラス替えができない学年がある「小規模」でしたが、新たな推計では、全学年でクラス替えができる「適正規模」と推定しています。しかし、これからも子どもの数の減少が進んでいくと推定されることや、藤山台小学校は令和22年度では全学年でクラス替えができない「過小規模」と推定していることを踏まえ、藤山台中学校区と岩成台中学校区をあわせて最適な学校統合のあり方を検討していくこととします。詳細は右下のQRコードからご覧ください。

他中学校区の状況について

1 高森台・石尾台中学校区

6月14日(日)に両中学校区合同の意見交換会を開催しました。

会の前半では、高蔵寺ニュータウン地区を「藤山台・岩成台中学校区」と「高森台・石尾台中学校区」の2つの地区に分け、それぞれの地区で最適な学校統合のあり方を検討するなどの市の考え方を説明し、その後、意見交換を行いました。参加者からは、学校統合の順序についての提案のほか、統合以外の手法を望むことなどの学校統合の考え方についてや高蔵寺ニュータウン地区のまちづくりについての意見がありました。

会の後半では、1グループ5人から7人で円になり、参加者どうしによる意見交換を行いました。



意見交換会(6月14日)

参加者どうしによる意見交換の主な意見

【テーマ 学校統合について、期待すること・心配なこと】

- ・小規模校にはメリットもあるが、先生や友達がたくさんいる環境、子どもたちの社会性などを考えると、複数クラスがある学校規模に向けて取組を進めることが必要だと思う。
- ・1学級35人の基準が本当によいのか。教育に関することをたくさん議論して、小規模校の良さであるきめ細かな教育ができるように進めていくべきだと思う。
- ・通学が心配なので、小学校は今のままで中学校だけ統合するのはどうかと思う。
- ・統合する前に子どもたちからも意見を聞いてほしい。
- ・学校統合の話だけではなく、まちづくりもあわせて考えてほしい。
- ・市の財政などを考えると、今の学校数を今後維持していくことは厳しいと思う。



2 坂下中学校区

坂下中学校区の保護者や地域の代表の方、学校関係者などで構成する「坂下中学校区の学校づくりを考える懇談会」で具体的な検討を進めています。第1回懇談会は6月19日(金)に、第2回懇談会は7月15日(水)に開催し、統合後の学校の設置場所などについて議論していただきました。

第3回懇談会は8月24日(月)に開催します。



第1回懇談会

児童生徒数推計や、これまでに実施したアンケート結果及び意見交換会の会議録などを市ホームページ(右に記載のQRコード)に掲載しています。



※ 令和8年4月の市の組織改正により、学校の適正規模・適正配置に関する事務を担当する「新たな学校づくり推進室」を学校教育課内に設置しました。これに伴い、新しいメールアドレスとなっています。